

# MAKANPAO RESORT IN ZAMBARES JICAO RETIREMENT VILLAGE JICAO TRAINING CENTER

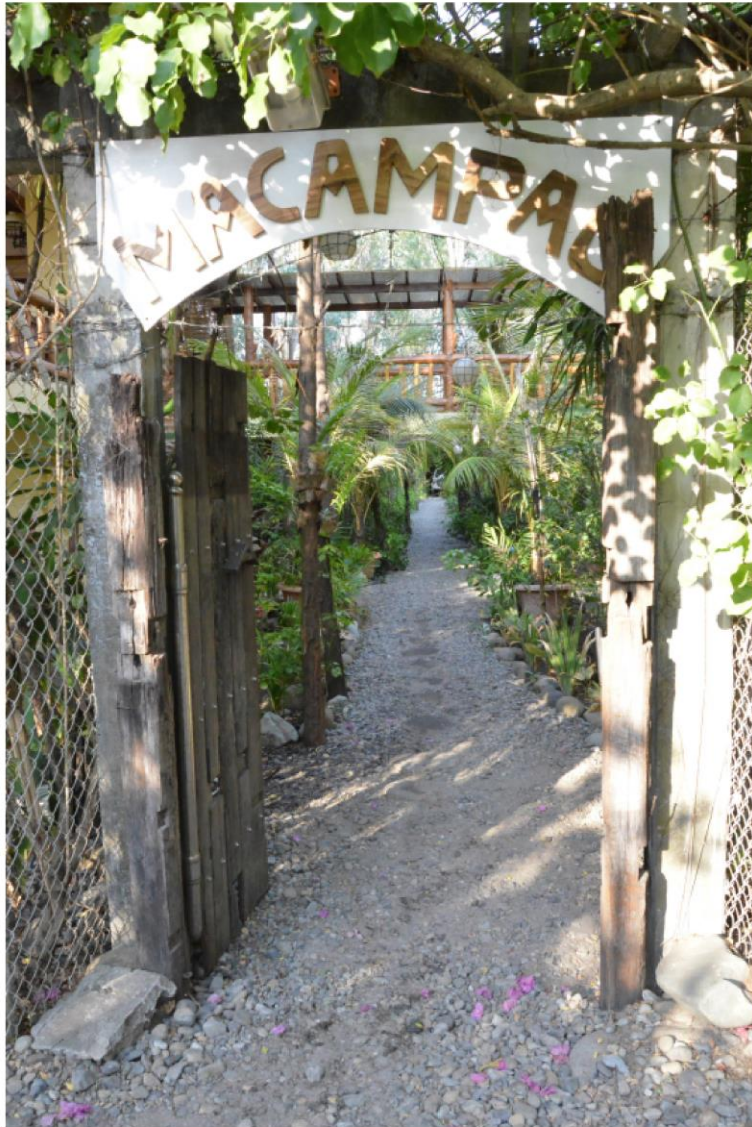


MAKANPAO RESORT IN ZAMBARES  
JICAO RITREMENT VILLAGE  
JICAO TRAINING CENTER



フィリピンの地方というとほとんどの日本人の場合ジャングルを彷彿とさせるだろう。しかしここはピナツボ山(1486m)の裾野に広がる田園地帯であり、手つかずの自然が多く残る場所、また住民は非常に穏やかでガーデニングが大好きで国道は街に差し掛かると道まで広がるガーデニングに心が癒される。また、治安に関しても外部の人間はあまりではいりしない田舎町でもあるため、生活上安心して過ごすことができる。

また開発の経過次第では温泉の採掘も可能と言われ、保養地としての将来性も大きい。



左図は日常の出入り口。左はバスなどでは入りできる裏門である。広さがあるため従業員もミニバイクで移動しなくてはならず、朝夕の散歩だけでも結構な運動量になるだろう。



MAKANPAO RESORT IN ZAMBARES  
JICAO RITREMENT VILLAGE  
JICAO TRAINING CENTER



この2階建てテラス回廊付きの建物が老人ケアを目的として建てられた住居である。天井は高く、夏でも過ごしやすい。また土台は石で作られるが上部は全て廃材を利用したどっしりした作りとなっていて、日本の民家を彷彿とさせる。建物の前には広い芝生の庭が広がり、その先は左下の大きな池があり、食用魚が飼育されている。気が向けばボートを出して川エビ取りや釣りをしてその日の付け合せが楽しめる。





ダイニングは全部で3ホールあり、それぞれが重厚な木材を使って来賓の落ち着けるひと時提供している。またサンクチャリーの中空にある為、風通しが良く静かなひと時が過ごせるのは経験を重ねてきた中高齢者にとってうってつけのひと時が味わえるはずだ。



MAKANPAO RESORT IN ZAMBARES  
JICAO RITREMENT VILLAGE  
JICAO TRAINING CENTER



元気な来賓者はこちらの客室でお休みいただけます。特に高級木材で作りにこだわった客室は、落ち着きと深い眠りを提供することが出来るでしょう。  
夜は窓を開ければさざ波の音で眠りにつき、朝は鳥の声で目が覚めます。  
また、自分で料理を作りたいと思ったら、キッチンを借りて腕を振るうことも可能。朝市で仕入れた素材で和風料理を懐かしむこともできるのです。

MAKANPAO RESORT IN ZAMBARES  
JICAO RITREMENT VILLAGE  
JICAO TRAINING CENTER



MAKANPAO RESORT IN ZAMBARES  
JICAO RITREMENT VILLAGE  
JICAO TRAINING CENTER

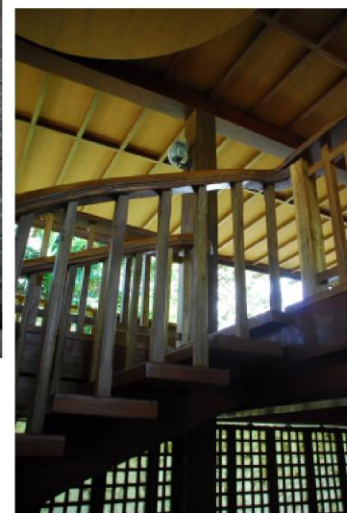


二人だけの水入らずの時を、とお考えの方にも、離れをご用意しております。水辺に美しく映る照明の中で静かな時が流れていきます。





MAKANPAO RESORT IN ZAMBARES  
JICAO RITREMENT VILLAGE  
JICAO TRAINING CENTER



滞在中に誕生パーティーをソーシャルに開いてみたいという方、現地の名士たちと食事会を開きたい、などあらゆるご要望にお答えできる迎賓館、築50年の屋敷をリフォームして、あなたのホストとしてのステータスを高めることができます。

MAKANPAO RESORT IN ZAMBARES  
 JICAO RITREMENT VILLAGE  
 JICAO TRAINING CENTER

ピナツボ火山の裾野とスービック湾を望むフィリピンルソン島中部にJICAOが監修する日本人向けリタイア面とリゾート候補地がある。  
 既に2006年より個人オーナーの開発意欲によってすでに一棟の介護用建築物とホテル2棟の建設が完了し、200mのプライベートビーチと穏やかな中規模河川に挟まれた敷地で、50名の来賓が27,000㎡の敷地でのんびりと過ごすことができる。  
 今後更に開発を行い、200名から300名の来賓を迎えることも可能としているが、高層建築物を計画する気持ちはオーナーとして皆無だという。  
 オーナーもこの地の出身者で、医師である事から将来来賓が常時60%を超えるようであれば診療所の新設も検討するという。

交通:

マニラよりスービックまでは高速が使用できる。またスービックからサンバレスまではほとんど信号のない直線で合計4時間(ただし深夜・早朝)、朝6時前に出れば昼までにつくことが可能。  
 また、緊急の場合、スービックの総合病院、重篤な場合マニラからのヘリコプターで約30分でマニラの高度治療施設に到着する。

